

- ▶ 丹波市は、総面積の75%が森林を占めており、多くの集落が里山と隣接して位置する。近年の気象害の影響で、台風や豪雨時には人家への倒木を懸念する声が増えており、早急に人家裏山の環境改善が必要となる。整備内容としては、倒木時に人家への被害が懸念される立木の伐採とその周辺の間伐や竹林整備を推進していく方針。
- ▶ 令和元年度は、現地調査から積算までを市職員で行っていたが、令和2年度からは、事業地の一部において調査・設計業務を外部委託し、整備を推進した。また、事業規模の大きな事業地においては、調査年度と事業年度の2ヵ年計画として進めている。

□ 事業内容

1 緊急里山林整備事業（業務委託）

- ・ 里山付近の人家裏山を対象とした危険木伐採及び周辺の森林整備。

工種：危険木特殊伐採、間伐、竹林整備、下刈り、集積

【事業費】24,370千円（全額譲与税）

【実績】環境改善 21箇所

2 緊急里山林整備調査事業（業務委託）

- ・ 緊急里山林整備事業に向けた、事業地の調査・設計業務。

業務内容：危険木調査、標準地調査、選木、測量、設計書作成

【事業費】5,748千円（全額譲与税）

【実績】調査 12箇所



（事業1：整備前）

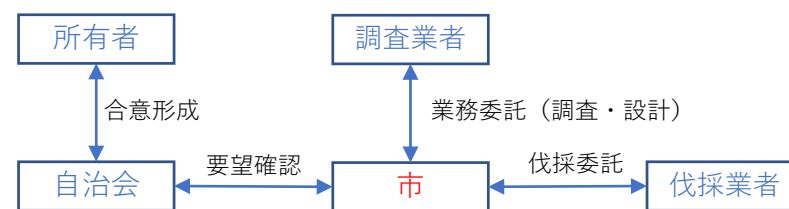


（事業1：整備後）



（事業2：選木後）

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- ・ 所有者の合意形成をはじめ、意見等の集約のため地元窓口を自治会長などに一本化する。これにより地元と行政が一体となって本事業に取り組むことができた。
- ・ 市発注事業であり、伐採から集積にかかる伐採費用の地元負担はないが、集積物の撤去やその利用方法については、地元での調整事項としている。

◇ 基礎データ

①令和2年度譲与額	73,996千円
②私有林人工林面積（※1）	18,413ha
③林野率（※2）	75.3%
④人口（※3）	64,660人
⑤林業就業者数（※3）	105人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3：「H27年国勢調査」より